

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 341. 2010. 2. 21.

# 第1回定例区議会傍聴を

## 詰め込み保育では育たない

## 待機児解消は認可保育園の大幅増設で

いよいよ今年初めの区議会が始まります。本会議での質問、常任委員会、特別委員会、予算特別委員会など盛りだくさんです。傍聴におこしくください。新年度予算へのご意見もお寄せください。会期は2月24日から3月26日です。



2月24日（水）午後2時30分頃  
南恵子区議（代表質問）  
①くらし、福祉、中小企業こそ守る政治を区長に問う②品川区も大規模開発見直しを③普天間基地は国内たらいまわしでなく、無条件撤去を

2月26日（金）午後1時30分～  
なかつか亮区議（一般質問）  
①住宅耐震化率9割目標にふさわしい支援の充実を②スタートから10年。選択制、一貫校で弊害続出の教育改革は見直しを③若者に広がるハウジングプア 住宅支援に実施を求める

2月25日午後2時頃  
いいぬま雅子（一般質問）  
①詰め込み保育では育たない、待機児解消は認可保育園の大幅増設で

保育園の入園状況が22日発表になります。申し込みをされている方々はとても心配をしています。まずは入園承諾書が届くことを願っています。認可保育園の数が足りず、私は保育需要に合わせて保育園増設を求めています。区は、保育園はお金がかかると、増設を拒否し、既存保育園に定員以上の子どもを入れる詰め込み保育を進めている。

2歳以上の子どもに定められている保育室の面積は1.98㎡。一畳強のスペース一日過ごすとしたらどうでしょう。日本の最低基準は世界でも貧しい基準です。共産党は保育者や父母のみなさんと基準上げの運動をしています。ところが、数が足りないのだから、スペースを小さくしてたくさん入れましょう。というのが民主党政権と濱野区政です。ご意見ください。

②うつ・統合失調症の早期発見、早期治療と、安心して地域で生活できる支援の

充実を

初めて精神疾患を取り上げます。うつ病は10人に1人の発症、統合失調症は100人に1人弱の割合で発症し、早期発見早期治療が肝心です。「だれにでも起こりうること」ですが、知識がなかったり、精神科への敷居が高く悪化してしまうケースもあります。窓口は保健センターです。人間を物のように使い捨てする労働環境を改善と共に、偏見をなくし「気軽に相談」の体制をつくっていききたい。また外に出られない重い障害の方も地域で生活できるように、家を訪問する医療と看護の充実と「ACIT」という医療と福祉のチーム



による在宅支援の仕組みづくり。そしてグループホームの増設も求めます。

③高層化を前提とした武蔵小山駅周辺のまちづくり計画策定をやま、災害に強い住民合意のまちづくりを

区民アンケート返信が届いていますが、まちづくりの中で、建物の高さ制限についての設問では、高さ制限を設けるべきのご意見が圧倒的に多かったです。小山3丁目19階ビルの風害

や景観の問題に関心の強い方が多いのでしょうか。区

は56ヘクタールの地域を4500万円かけ調査し、開発のための都市計画図書を策定します。商店街の活性化を合わせていますが試案として示されている図面には26号線沿い高層建物が並ぶプランが示されています。地域に住んでいる住民の皆さんの総意で街をつくっていききたいと思えます。まちづくりは長期にわたり体力が必要

です。一緒に運動してください。求めています。

区民アンケートの返信1187通(2.17現在)区政に生かします。



2月14日(日)いいぬま雅子地域区政報告会と新春のつどいにご参加ありがとうございました。新しい年未来に希望が広がってきたと感じる私ですが、地域には厳しい状況ばかりが広がっています。声を上げれば、手をつなげば、行動を起こせば、政治は必ず変わります。身近なところからトライしてしてみましよう。3月21日(日)午前中ですが、専門家をお呼びし、ビル風の学習会をします。荏原第一地域センターです。



いぬま雅子

日本共産党品川区議会議員